

12/29
旗

「原発安全神話に加担」

福井地裁決定 2団体が抗議

福井地裁が24日、関

西電力高浜原発3、4

号機の運転差し止めを

命じた4月の仮処分決

定について関電の異議

を認め決定を取り消し

たことに、各団体が抗

議声明を発表していま

す。

全日本民主医療機関

連合会は25日、藤末衛

会長名で「原発の安全

性と住民の人格権を無

視し、安全性も責任の

所在や避難計画もあり

まいなまま原発再稼働

へと突き進める決定」

と指摘。国民の過半数

が再稼働に反対する一

方で、政府と電力会社

などの原発回帰の動き

が加速することに対

し、「司法は福島原発

の過酷事故の実態を真

撃（しんし）に受け止

め、国民の声に耳を傾

けることを強く切望す

る」と結んでいます。

自由法曹団（荒井新

二団長）は28日、住民

の人格権が侵害される

具体的危険性の存否を

直接の審理の対象とし

ない「司法審査の在り

方自体が、原子力専門

家の知見や裁量を無批

判に尊重しようとする

ものであり、再稼働を

安易に認めるものとの

批判を免れない」と強

調。「新規制基準が『専

門的・技術的知見』に基

づくものであることか
ら直ちに合理的である
との結論を導くもので
あって、新たな原発安
全神話の構築に裁判所
が加担したものと厳
しく批判しています。